

大阪シネ・ヌーヴォー 京都みなみ会館 神戸元町映画館 × 横浜シネマ・ジャック&ベティ

ミニシアター地域交流上映会

SCHEDULE

YOKOHAMA

横浜シネマ・ジャック&ベティ

12/19 SUN

14:40 ~ 16:35 『月夜釜合戦』 (115分)

16:45 ~ 17:30 トークショー (45分)

17:45 ~ 19:18 『夜は短し歩けよ乙女』 (93分)

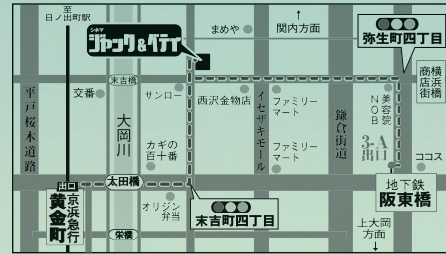
19:18 ~ 19:50 トークショー (30分)

20:00 ~ 21:00 関西3館 支配人・館長トークショー (60分)

12/20 MON

13:00 ~ 18:45 『ハッピーアワー』 (317分)
途中2回休憩あり

18:55 ~ 19:40 トークショー (45分)



横浜シネマ
ジャック&ベティ
〒231-0056 横浜市中区若葉町3-51
TEL 045-243-9800
www.jackandbetty.net

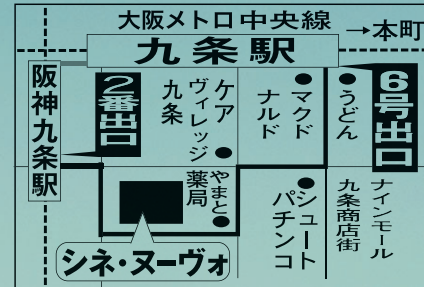
OSAKA

大阪シネ・ヌーヴォー

12/26 SUN

12:40 ~ 14:22 『我が人生最悪の時』 (92分)

14:30 ~ 15:15 トークショー (45分)



シネ・ヌーヴォー
〒550-0027 大阪府大阪市西区九条1-20-24
TEL 06-6582-1416
http://cinouveau.com/



横浜シネマ・ジャック&ベティ 横浜シネマリン



神戸元町映画館 大阪シネ・ヌーヴォー 京都みなみ会館

TICKET

チケット料金

一般	学生・シニア	会員	「ハッピーアワー」のみ
1500円	1100円	1000円	一律3600円 会員3000円

※シネマ・ジャック&ベティ開催分チケットはオンライン・窓口ともに3日前から発売。 ※シネ・ヌーヴォー開催分チケットはオンライン・窓口ともに1週間前より発売。
※会員割引は横浜シネマ・ジャック&ベティ、横浜シネマリン、大阪シネ・ヌーヴォー、京都みなみ会館の会員証、神戸元町映画館のポイントカード、および全国ミニシアター相互割引が対象となります。

映画と街をめぐる旅がはじまる

YOKOHAMA



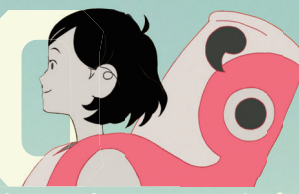
『我が人生最悪の時』

OSAKA



『月夜釜合戦』

KYOTO



『夜は短し歩けよ乙女』

KOBE



『ハッピーアワー』



ミニシアター 地域交流上映会

大阪シネ・ヌーヴォー 京都みなみ会館 神戸元町映画館 × 横浜シネマ・ジャック&ベティ

2021.12/19 SUN 12/20 MON

横浜シネマ・ジャック&ベティ
『月夜釜合戦』 ゲスト：川瀬陽太さん、佐藤零郎監督
『夜は短し歩けよ乙女』 ゲスト：湯浅政明監督
『ハッピーアワー』 ゲスト：濱口竜介監督

2021.12/26 SUN

大阪シネ・ヌーヴォー
『我が人生最悪の時』 ゲスト：林海象監督

それぞれの街に、愛される映画館、大切な映画がある。映画と街の魅力を発見する、至福の旅へご案内します。

主催：横浜シネマネットワーク実行委員会 共催：一般社団法人コミュニティシネマセンター
協力：シネ・ヌーヴォー、京都みなみ会館、元町映画館 助成：横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト2021 文化庁「ARTS for the Future!」補助対象事業

ヨコハマ
アートサイト
AFF
ARTS for the future!

OSAKA → YOKOHAMA

12/19 SUN 14:40-

@横浜シネマ・ジャック & ベティ



『月夜釜合戦』

2017年 / 115分 / 映画「月夜釜合戦」製作委員会

監督・脚本：佐藤零郎

出演：太田直里、川瀬陽太、門戸紡、渋川清彦、カズ、西山真来

古典落語「釜泥」をベースに、再開発の波が押し寄せる大阪・釜ヶ崎で繰り広げられる騒動を描いた人情喜劇。釜ヶ崎を牛耳るヤクザ・釜足組の「釜のお釜」が盗まれた。見つけないために釜足組が寄せ屋でお釜を買ひ占めたため、お釜の値段が高騰してしまう。私娯窟の用心棒・大洞はお釜が高値で売れることを知り、街中のお釜を盗み出す。やがて騒動は吹き出しの「大釜」を巡って活動家グループとの抗争にまで発展し、巻き込まれた大洞は月夜の釜合戦に加わる羽目になってしまう。出演は「ローリング」の川瀬陽太、「お盆の弟」の渋川清彦ほか。ドキュメンタリー映画「長居青春群像歌」の佐藤零郎監督がメガホンをとった。

トークショー（上映後、45分予定）

登壇者：川瀬陽太さん、佐藤零郎監督

聞き手：山崎紀子（シネ・ヌーヴォー 支配人）

<山崎支配人コメント>

監督の佐藤零郎が所属するNDS(中崎町ドキュメンタリースペース)とNDU(日本ドキュメンタリストユニオン)の2010年の共同上映会は驚きと熱気と興奮に包まれ、伝説になりました。そこで発表された「次は劇場映画や!」。紆余曲折は経たれど2017年に完成した『月夜釜合戦』の熱はまだまだ冷める気配はありません。ぜひ観てください。

<シネ・ヌーヴォー プロフィール>

シネ・ヌーヴォーは全国の映画ファンの出資により1997年に大阪のしたまち・九条にオープンしました。水中映画館をテーマに劇団・維新派が衣装と玄關オブジェを手掛け、非日常空間を演出。独自に企画する特集上映を柱にアート系、インディペンデント映画、社会派ドキュメンタリーを日々上映しています。2022年1月には【生誕100年 映画監督 三隅研次】、2月には【没後30年 小川紳介全作品上映】(仮題)を開催します。

12/19 SUN
20:00-

横浜シネマ・ジャック & ベティ 関西3館 支配人・館長によるスペシャルトークショー

※交流上映会のチケットで入場無料(自由席、お席は17:45回のお客様優先)
ゲスト：山崎紀子(シネ・ヌーヴォー 支配人) 吉田由利香(京都みなみ会館 館長) 林未来(元町映画館 支配人)

12/19 SUN 17:45-

@横浜シネマ・ジャック & ベティ



『夜は短し歩けよ乙女』

2017年 / 93分 / 東宝映像事業部

監督：湯浅政明 原作：森見登美彦 脚本：上田誠

出演：星野源、花澤香菜、神谷浩史、秋山竜次、中井和哉、甲斐田裕子

「四畳半神話大系」「有頂天家族」などで知られる人気作家・森見登美彦の初期ベストセラー作品で、黒髪の乙女に思いを寄せる冴えない大学生の物語をユーモラスに描いた『夜は短し歩けよ乙女』をアニメーション映画化。監督は、テレビアニメ化された「四畳半神話大系」や「マインド・ゲーム」「ピンポン THE ANIMATION」など独特な表現手法のアニメ作品で人気の湯浅政明。同じく「四畳半神話大系」も手がけた、劇団「ヨーロッパ企画」の上田誠が脚本を担当。シンガーソングライターのほか、ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」などで役者としても人気の星野源が、主人公の声を担当した。所属クラブの後輩である「黒髪の乙女」に恋心を抱く大学生の「先輩」は、「なるべく彼女の目に留まる」ことを目的とした「ナカメ作戦」を実行する日々を送っていた。個性豊かな仲間が巻き起こす珍事件に巻き込まれながら季節はめぐっていくが、黒髪の乙女との関係は外堀を埋めるばかりでなかなか進展せず……。

トークショー（上映後、30分予定）

登壇者：湯浅政明監督

聞き手：吉田由利香(京都みなみ会館 館長)

<吉田館長コメント>

森見登美彦 × 上田誠 × 湯浅政明がおくる、観光地としてはない、京都の(ある種の)リアル。完全なファンタジーでフィクションだけれど、京都ってこういう所がある!を見事なアニメーションで堪能頂けます。旧館時、「四畳半神話大系」一挙オールナイト上映を行った夜、湯浅監督と壇上で巨大カステラを食べた事は忘れられません。

<京都みなみ会館 プロフィール>

京都みなみ会館は1963年に邦画の封切館として開館し、90年代以降はミニシアターとして映画を上映し続けて参りました。2018年3月に建物の老朽化で一時期休館し、2019年8月には旧館の北側に場所を移しリニューアルオープン。新しく3スクリーンを備えた劇場として再出発しております。35mmフィルム上映も定期的に行い、イベント上映なども頻りに開催しています。毎月恒例の怪獣映画や音楽ライブにオールナイト上映など、日々雑多に営業中です!

KYOTO → YOKOHAMA

KOBE → YOKOHAMA

12/20 MON 13:00-

@横浜シネマ・ジャック & ベティ



『ハッピーアワー』

2015年 / 317分 / 神戸ワークショップシネマプロジェクト

監督：濱口竜介

出演：田中幸恵、菊池葉月、三原麻衣子、川村りら、申芳夫、三浦博之

演技経験のない4人の女性を主演に、ごく普通の30代後半の女性たちが抱える不安や悩みを、総時間317分の緊迫感あふれるドラマとして描いた。映画学校の生徒たちを起用した4時間を超える大作「親密さ」や、東北記録映画3部作(「なみのおと」「なみのこえ」「うたうひと」)など挑戦的な作品作りを続ける濱口竜介監督が手がけ、スイスの第68回ロカルノ国際映画祭で、主演4人が最優秀女優賞を受賞した。30代後半を迎えた、あかり、桜子、英美、純の4人は、なんでも話せる親友同士だと思っていた。しかし、純が1年におたる離婚協議を隠していたことが発覚。そのことで動揺した4人は、つかの間の慰めにとる馬温泉へ旅行にかけ、楽しい時間を過ごす……。

トークショー（上映後、45分予定）

登壇者：濱口竜介監督(リモート予定)

聞き手：林未来(元町映画館 支配人)

<林支配人コメント>

2015年に公開して以来、映画『ハッピーアワー』は私にとって旧友のような存在になってきました。「これ、純が好きそう」「こんなこと言ったらあかりにシバかれる」なんて瞬間が自分の日々であり、あかり、桜子、英美、純の人生はまだこの神戸で続いている気がしています。人生に寄り添ってくれる4人の女性の物語を、ぜひご覧ください。

<元町映画館 プロフィール>

元町映画館は、次々とミニシアターが姿を消していくなか「このままでは好きな映画を観る場所がなくなる!」と危機感に衝き動かされたひとりの映画好きを発起人に、映画ファンたちがお金を出し合って2010年8月にオープンしました。不朽の名作からカルトすぎる迷作まで、何でもアリの多様なラインナップが特徴です。上映作品に合わせたイベント企画も多数開催、「映画+α」の愉しみをお届けしたい!と日々奮闘中。

京都・大阪・神戸は距離的にも行き来しやすく、普段から顔を突き合わせて上映作品や連携企画の情報共有を行い、業界が大きく揺れたデジタルシネマ問題などを乗り越えてきました。そんな関係の中から2018年、インディペンデント映画とミニシアターの活性を目標にした「次世代映画ショーケース」が誕生。そして2020年コロナ禍での危機感から声をあげた「Save our local cinemas」は多くの方の呼びかけとご支援により、参加13館の休館時期を支えていただきました。

12/26 SUN 12:40-

@大阪シネ・ヌーヴォー



『我が人生最悪の時』

1994年 / 92分 / ヘルルド・エース=日本ヘルルド映画

監督：林海象

出演：永瀬正敏、南原清隆、佐野史郎、鷹赤兄、塚本晋也、穴戸錠

横浜を舞台に、友人の兄の消息を調べるようになった私立探偵が、事件に巻き込まれる様を描く無国籍風アクション。“私立探偵マイクシリーズ第一弾”と銘打たれたもので、「アジアン・ビート アイ・ラブ・ニッポン」の企画・原案・プロデュースを経た林海象が台湾のスタッフの協力を得て監督。脚本は林と「無敵のハンディキャップ」の監督天願大介、撮影監督は「獅子王たちの最後」の長田勇市が担当。

横浜・黄金町。映画館の2階に事務所を構える探偵・濱マイクは、ケンカから助けた台湾人の楊海平に日本にいる兄の捜索を依頼される。マイクはタクシー運転手の旧友・星野と共に捜査を進めていくが、背景にアジア系外国人で構成されている黒狗会と台湾マフィアの抗争があること、その組員の一人が海平の兄であることが分かる。師匠の穴戸と妹の昔は深入りしないようマイクに忠告するが、彼は聞かなかった。だが海平の兄探しの話はカムフラージュで、彼は対立する黒狗会にいる兄を殺す立場であった。そのことを知ったマイクは海平をそのまま帰国させようとするが、組織の陰謀により海平は兄と争い、二人とも死んでしまう。何も出来なかったマイクはせめてもと台湾にいる海平の婚約者に指輪を届けるのだった。

トークショー（上映後、45分予定）

登壇者：林海象監督(リモートの可能性あり)

聞き手：梶原俊幸(横浜シネマ・ジャック & ベティ 支配人)

八幡温子(横浜シネマリン 支配人)

福島成人(ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員長、横浜シネマネットワーク実行委員長)

<梶原支配人コメント>

我々が、ジャック & ベティを引き継いだ理由の一つは「私立探偵 濱マイク」の舞台にもなった横浜・黄金町に映画館を残し続けたいと思ったからです。人気は根強く、2013年の「私立探偵 濱マイク 大回顧展」には、全国からファンが駆け付け、イセザキモール周辺は映画の街の賑わいを取り戻していました。横浜日劇なき今、「濱マイク」には、いつでもジャック & ベティに帰ってきてほしいと願っています!

<横浜シネマネットワークの紹介>

多様な映画が楽しめる街ヨコハマようこそ!
明治・大正期、横浜では全国の映画館に先駆けて海外映画が「封切」公開され注目を集めました。現在も4つのミニシアターに加えて、ヨコハマ映画祭やフランス映画祭横浜、ヨコハマ・フットボール映画祭、横浜キネマ倶楽部などさまざまな映画祭、上映会が開催されています。横浜シネマネットワークはそんな映画を愛する人々が集まり、独自の上映企画で、映画の街ヨコハマの魅力を発信しています。

YOKOHAMA → OSAKA